

## 平成 27 年度第 2 回奈良市子ども発達センター推進会議の概要

開催日時	平成 28 年 2 月 19 日（木）午前 10 時から正午まで
開催場所	奈良市役所 北棟 6 階 第 21 会議室
議 題	1 子ども発達センター療育相談室の事業報告 2 児童発達支援「いっぽ」の事業報告 3 討議
出席者	出席委員 6 人（欠席委員なし）・事務局 15 人
開催形態	公開（傍聴人なし）
担当課	子ども未来部 子育て相談課

### 議事の内容

1. 子ども発達センター療育相談室の事業報告
  - (1) 平成 27 年度の事業実績
  - (2) 平成 27 年度の新たな取り組み報告
    - 1) 西部公民館での出張相談
    - 2) サポートファイルの配布
    - 3) 療育相談に関するアンケート調査
    - 4) 支援者研修、公立保育園特別支援教育コーディネーター研修等
  - (3) 子ども発達センターと各関係機関との連携について  
こども園推進課、健康増進課、障がい福祉課、教育相談課、児童発達支援「いっぽ」との会議からでた各機関の支援内容と今後の課題について報告
  - (4) 平成 28 年度の方向性  
「園巡回相談の体制強化」「関係機関とのネットワークの強化」
  
2. 児童発達支援「いっぽ」の事業報告
  - (1) 平成 27 年度施設運営の状況報告  
平成 27 年度の新たな取り組みとして「親子教室」「アフターフォロー教室」実施。療育を進める上での課題として、①保護者の療育希望から開始までの所要日数 ②療育を開始する時期③相談窓口での情報共有及び支援の調整④公開療育及び家族通園実施時の会場の確保。
  - (2) 親子教室の実施状況及びアンケート調査の結果について  
親子教室を実施したことで、早期に保護者の不安によりそうことができた。また、発達センター療育相談室や健康増進課からの紹介も多く、連携の機会となった。アンケート調査からは、①保護者の力だけでは対応が難しいケースについては、利用日数が増えることで保護者や子どもの積み重ねができること②こども園化が進む中、教室を利用したことで子どもの発達が理解でき、集団生活の場をどこに持つかの選択の変化が見られた③相談支援事業所の利用計画が必須となる中、相談支援事業所についての相談も聞かれるようになった。

### 3. 討議内容

「個別支援の充実にあたっては、一貫した支援体制の構築に向け、ライフステージに応じた横の連携が必要不可欠です。それぞれの関係機関の強みを活かした支援から、今後、更に子ども発達センターとして充実しなければならない課題について」

- ・子ども発達センターが相談のまとめとして保護者に渡している「相談シート2」については、次の支援先でも活用してもらうことが大切。
- ・「相談シート2」については、保護者が理解しやすいように改善を検討していく必要がある。
- ・サポートファイルの活用方法について検討が必要。
- ・幼児健診から発達センターにつながる時期や方法の検討。
- ・園の先生方のスキルアップを発達センターが担っていくためにも、園巡回相談は充実させていくことが大切。
- ・保護者支援においてはメンター制度の活用も検討していく。
- ・活用される出張相談となるための検討が必要。
- ・発達支援における関係各課の強みを活かした支援体制づくりが必要であり、今後の具体的な支援体制については、発達支援庁内連携会議において検討していくこともよい。

### 4. 奈良市子ども発達センター推進会議について

奈良市子ども発達センター推進会議としては、今年度をもって終了となる。今後も会議で出た意見などをもとに子ども発達センター事業を進めていく。